

## リーダーに必要な能力

©朝吹 誠

- ・ 先ずは、「EQ・感情の質」向上能力で、内面の整備に努める。IQで得た、情報・データ・知識はEQが向上すると、智慧になる。私達はおうおうにして外面の整備（ファッション・アクセサリ・ヘアスタイルなど）ばかりに力を入れるが、内面の整備に果たしてどれくらい取り組んでいるだろうか？人間は目に見えるところしか気付きにくいという盲点がある。ジムで心肺機能・筋肉アップに時間も資金もエネルギーも費やしているが、心の筋力アップにはどのくらい時間と資金とエネルギー費やしているのだろうか？ネガティブ意識からポジティブ意識に、否定的感情から肯定的感情に、不平不満から感謝に、他責中毒（他人・他に全ての責任を押し付ける）から自責文化（全ての責任を自分で取る）に、自分もメンバーも導く。
- ・ リーダーにとって必要な「予知能力」とは？「勘・六感・閃き・直観力・洞察力・読心力・判断力」の意味で、ユングのシンクロニシティで仮説した、目に見えないコミュニケーションの分野での能力開発である。特に政治家、経営者には独特の勘、閃きが必要と言われている。
- ・ リーダーに必要な「礼能力」とは、「自責力・謙譲力・忍耐力・継続力・気配力・高度なコミュニケーション力」の事。幽霊の霊能力ではなく、礼儀を持つ能力の事である。先ずは、日本人としての礼儀作法を学ぶ。外国人との交流では、その外国人の国・文化を学ぶ、意文化交流への造詣が必要。国・文化・宗教によってマナーは異なるので、国際関係の公的な礼儀として、国際儀典（プロトコール）があり、海外からの来賓や大使などとの交流にその知識は不可欠である。
- ・ リーダーに必要な「人間関係構築能力」とは、「信義力、クローズド&オープン・ネットワーク、ご縁システム」の事。信義力とは、人を信頼し、人との約束を守り、人から信頼を得て、義理人情を重んじる力。
- ・ リーダーに必要な「問題解決能力」とは、出来るだけ早く問題を予知し、その問題に対する最適な解決策を発見し、すばやく対処する。日常から失敗学を学ぶ。
- ・ リーダーの「目標達成能力」とは、「シナリオプランニング・シミュレーション・アフェアメーション」に取り組み、自分及びチームの目標を確実に達成する能力。
- ・ リーダーに必要な、「対外発信能力」とは、「企画力・メディア研究・語学力・異文化交流学・宣伝広告力・広報力」の事で、自分とチームの活動を社会及び世界と共有する。
- ・ リーダーに必要な「安全保障能力」とは、「説明責任能力・リスク・マネジメントである。」『リーダーはリスク請負人』（出典・大竹美喜設立準備委員長）である。
- ・ リーダーに必要な、「コーチング能力」とは、「メンバーの育成・チームの育成、メンバーのEQ向上への助力、メンバー・チームの夢・理想の実現」の事。「やってみせ、やらせてみせ、褒めてやらねば」人は育たない。メンバーが約束を破ったり、違法な対応をしたり、ネガティブ意識で発信（言動）し、ネガティブ意識を改善しない場合、ティーチング・カウンセリング・コーチング能力を発揮し、約束遵守・法律遵守・倫理遵守、ポジティブ意識への変革に導く。